

ワーキングペーパーリスト

- No. 1 米地文夫・平塚明：遊牧民と狩猟民と農耕民の会おうところ
——'98・'99中国“熱河山地”自然環境調査ノート—— (2000年1月1日)
- No. 2 土井時久：岩手山火山活動の観光入込みへの影響 (2000年3月31日)
(2002年3月の増刷時にタイトル「火山活動情報の観光などへの経済的影響」に変更)
- No. 3 土井時久：フードシステムの構造変動要因 (2000年3月31日)
- No. 4 元田良孝・高嶋裕一・堀籠義裕：中山間過疎地域の日常生活における情報通信の利用状況
——岩泉・田野畑地域におけるアンケート調査結果—— (2000年5月22日)
- No. 5 Naofumi Muraki：Monotonic Convolution and Monotonic Lévy-Hinčičin Formula (2000年11月13日)
- No. 6 野崎道哉：費用便益分析の理論と応用
——公共プロジェクトの経済評価—— (2001年10月)
- No. 7 平塚明・豊島正幸・幸丸政明・由井正敏・佐野嘉彦・信夫隆司・山田晴義・米地文夫：
八幡平地域を対象とした環境調査実習の試み
——環境政策講座における学生指導の一方法として—— (2001年11月1日)
- No. 8 入試委員会ワーキング・グループ：
総合政策学部の入試制度のあり方に関する調査・研究中間報告書
——総合政策学部の将来構想に関する基礎研究(その1)—— (2001年11月)
- No. 9 元田良孝・高嶋裕一・堀籠義裕：
ヨーロッパの公共交通に関する調査報告書(フィンランド、イギリス) (2001年11月26日)
- No. 10 元田良孝・阿部晃士：全国の火山防災マップ調査 (2002年2月28日)
- No. 11 細谷昂：ブラジル日本移民の生活と意識
——努力、工夫、そして夢とアイデア—— (2002年7月1日)
- No. 12 今井潤一・渡辺隆裕：戦略的思考を取り入れたリアル・オプション
——離散2時点モデルによる分析—— (2003年6月18日)
- No. 13 米地文夫・平塚明：ハマナスの分布と名称についての植物地理学的研究 (2003年6月23日)
- No. 14 米地文夫・増子義孝：アジア・ナショナリズムとサウンドスケープおよび楽曲
——インドネシアと日本の激動期の歌曲を中心に—— (2003年6月30日)
- No. 15 脇田健一：階層化された流域管理システムの構築 (2003年7月20日)
- No. 16 信夫隆司：ウェントのコンストラクティヴィズム (2003年7月22日)
- No. 17 信夫隆司：米国立公文書館調査(2003年12月)報告書(第1報)
——国務省公電にみる商業捕鯨モラトリアムの原点—— (2003年12月)
- No. 18 信夫隆司：岩手の捕鯨に関する文献解題 (2004年1月)
- No. 19 信夫隆司：国連人間環境会議における商業捕鯨モラトリアム案に対するわが国の対応
——外務省の公文書を通して—— (2004年5月11日)
- No. 20 元田良孝・高嶋裕一・堀籠義裕：ダイヤモンド型交通システムの実態に関する調査報告書
——帯広市あいのりタクシー・フレ愛りんバスを中心として—— (2004年8月19日)
- No. 21 野崎道哉：岩手県における民間企業資本ストックの計測 (2004年11月1日)
- No. 22 信夫隆司：キッシンジャーと若泉敬の電話記録
——米国立公文書館Kissinger Telcons 紹介—— (2004年11月8日)
- No. 23 信夫隆司：佐藤-ニクソン会談(1969年)関連の若泉敬資料 (2005年8月22日)
- No. 24 高嶋裕一：地域ブランド戦略の政策学的理解 (2005年8月23日)
- No. 25 信夫隆司：佐藤-ニクソン会談(1969年)——資料紹介—— (2005年10月4日)
- No. 26 高嶋裕一：DEAを用いた費用効率性分析における長期と短期の区別 (2006年8月28日)

- No. 27 高嶋裕一・小山隆春・菊地信輝・高橋孝典・鳩岡史朗：「格差社会」と公共政策
——格差社会論の鳥瞰と岩手県における格差の分析—— (2006年10月23日)
- No. 28 山田佳奈・倉原宗孝・窪幸治：少子高齢社会における地域生活の現状と課題
——「情報」と「共同（ネットワーク）」を中心概念として—— (2006年11月26日)
- No. 29 信夫隆司：日米繊維交渉に関する外務省史料集成 第1集（1969年8月～9月）（2007年4月17日）
- No. 30 岩手県立大学 地域貢献研究会：
地域貢献活動を通じた複合領域研究を推進するための方策に関する理論的・実証的研究
——岩手県立大学の事例に基づくデータベース構築の試み—— (2007年4月30日)
- No. 31 信夫隆司：日米繊維交渉に関する外務省史料集成 第2集（1969年10月～11月）（2007年5月25日）
- No. 32 信夫隆司：日米繊維交渉に関する外務省史料集成 第3集（1969年12月～1970年1月）
(2007年5月25日)
- No. 33 信夫隆司：日米繊維交渉に関する外務省史料集成 第4集（1970年2月～3月）（2007年6月5日）
- No. 34 信夫隆司：日米繊維交渉に関する外務省史料集成 第5集（1970年5月～6月）（2007年6月5日）
- No. 35 信夫隆司：日米繊維交渉に関する外務省史料集成 第6集（1970年8月～10月）（2007年6月12日）
- No. 36 信夫隆司：日米繊維交渉に関する外務省史料集成 第7集（1970年11月）（2007年7月13日）
- No. 37 信夫隆司：日米繊維交渉に関する外務省史料集成 第8集（1970年12月）（2007年7月13日）
- No. 38 高嶋裕一：「大学モデル」の諸類型と地域貢献の理論
——大学の公益性に着目して—— (2007年7月14日)
- No. 39 Nobuo Koida: The Law of Iterated Choquet Expectation (2007年12月5日)
- No. 40 堀籠義裕：地方政府における新政策導入要因の分析手法に関する考察 (2007年12月25日)
- No. 41 栗田但馬：人口小規模町村にとって「平成の大合併」とは何か
——地方財政からみた合併効果の検証に関する問題提起—— (2008年4月14日)
- No. 42 高嶋裕一・古山淳夫・緑川晋也・高橋敬子：公益事業とCSR
——公益事業において何故CSRが論じられるのか—— (2008年5月8日)
- No. 43 岩手県立大学 地域貢献研究会：地域貢献研究会年報2007 (2008年8月25日)
- No. 44 和川央：主観的満足度に関する一考察
——政府による「豊かさ」論の変遷—— (2008年10月14日)
- No. 45 土井時久・今井敏信：北海道における薄荷生産の変遷とその経済的意義 (2008年11月1日)
- No. 46 高嶋裕一・長澤忠輝：人口流出率の予測について
——岩手県のデータによる実証分析事例—— (2008年11月2日)
- No. 47 栗田但馬・岩手県立大学総合政策学部「農山漁村地域の再生・発展に関する総合政策的研究」
ゼミナール：『全国町村の社会経済調査シリーズ』3 岩手県西和賀町社会経済調査報告書
(2009年3月11日)
- No. 48 Nobuo Koida: Dual Risk Aversion (2009年4月6日)
- No. 49 栗田但馬：地方財政改革論の到達点と課題
——金澤史男先生の所説を中心に—— (2009年6月30日)
- No. 50 山本克彦・宮城好郎・高嶋裕一：いわて子どもの森に関する事後評価研究報告書
(2009年7月6日)
- No. 51 土井時久：北海道における戦後緊急開拓、牧野解放と乳牛飼養 (2009年9月19日)
- No. 52 栗田但馬・岩手県立大学総合政策学部「農山漁村地域の再生・発展に関する総合政策的研究」
ゼミナール：『全国町村の社会経済調査シリーズ』4 岩手県大槌町社会経済調査報告書
(2010年2月22日)
- No. 53 高嶋裕一・和川央：多くの変数を含むデータの解析について
——岩手県県民意識調査の分析事例—— (2010年4月2日)

- No. 54 高嶋裕一・和川央：構造方程式モデルを用いた満足度の構造分析
 ——岩手県県民意識調査の分析事例—— (2010年4月19日)
- No. 55 岩手県立大学総合政策学部教務委員会：総合政策学部生のカリキュラムに対する意識
 ——分析と提言—— (2010年5月2日)
- No. 56 高嶋裕一：携帯電話の「ガラパゴス現象」について考える
 ——携帯電話サービスの普及モデル—— (2010年5月15日)
- No. 57 高嶋裕一：政策評価事務作業における行政職員の意識構造に関する分析
 ——岩手県の政策評価担当職員を事例として—— (2010年5月25日)
- No. 58 高嶋裕一・上森貞行・菊池昌彦・渡邊智裕：「高齢者に住みよいまちづくり」の政策分析
 ——盛岡市を対象として—— (2010年6月25日)
- No. 59 元田良孝：ノルウェーの自転車政策 (2010年7月1日)
- No. 60 高嶋裕一・上森貞行・菊池昌彦・渡邊智裕：盛岡市まちづくり評価アンケート調査の分析
 ——盛岡市民の意識の構造抽出の試み—— (2010年7月23日)
- No. 61 高嶋裕一・和川央：情報量基準を用いた探索的データ解析の方法
 ——因子分析プロセスの計算機シミュレーション—— (2010年12月3日)
- No. 62 戸塚眞一・高嶋裕一：学校給食共同調理場と生産者の連携による地産地消の現状と課題
 ——岩手県矢巾町・紫波町における事例—— (2011年1月17日)
- No. 63 高嶋裕一・上森貞行・菊池昌彦・戸塚眞一・春山一男・渡邊智裕：エネルギー政策と地方分権
 ——「電力自由化」から「緑の分権改革」まで—— (2011年2月7日)

編集後記

あの3月11日から4ヶ月以上が過ぎ、この『総合政策』第12巻第2号の編集作業も遅れに遅れ、通常よりも約2ヶ月遅くなりましたが皆様へお届けすることができました。私は編集委員としては古株で7年目に突入しています。しかし、編集作業全般を担当するのは初めてでした。そのため、至らぬところが多々あり、他の編集委員や事務担当の方にはかなり負担をかけてしまったと思いますが、強力なサポートによって完成することができました。そして、この編集作業を担当できるのも、会員の皆様からの積極的な投稿が続いているからであります。今後も引き続き『総合政策』を強力にサポートいただけるようお願い申し上げます。

(宇佐美誠史)